

安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 アシド  
会社名 町田商事株式会社  
住所 東京都練馬区東大泉 7-2-1  
電話番号 03-5905-5670  
FAX 番号 03-5905-5674

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性 急性毒性（経口） 区分4  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2A

環境に対する有害性

※上記で記載が無い危険有害性は、区分に該当しない又は分類できない

GHSラベル要素・絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告  
危険有害性情報 飲み込むと有害  
強い眼刺激

#### 注意書き

安全対策 保護手袋、保護眼鏡、状況により保護マスク着用。取扱後は手を洗う  
スプレーでの使用はミストを吸入するので不可

応急措置 眼に入った場合は流水で数分間よく洗う。次にコンタクトレンズ着用  
で容易に外せる場合は外して洗浄し続ける  
眼の刺激が続く場合は医師の診察を受ける  
飲み込んだ場合は症状により医師に連絡する

保管 湿気、直射日光を避け暗所で保管する  
廃棄 関連法規、地方自治体等の基準に従って廃棄する

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物  
成分・含有量・CAS No.  
クエン酸 40% 5949-29-1  
酸化剤 殺菌剤 他

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 ・直ちに被災者を新鮮な空気の有る場所に移し症状により医師の診察を受ける（スプレーはミストを吸入するので不可）
- 皮膚に付着した場合 ・直ちに水と石鹼で良く洗い流す
- 目に入った場合 ・直ちにまぶたを開いて流水で洗眼し症状により医師の診察を受ける
- 飲み込んだ場合 ・刺激痛がして飲み込む事は出来ないが希釈液を飲み込んだ場合は直ちにアルカリ飲料を飲ませ症状により医師の診察を受ける

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 ・水、粉末、泡、炭酸ガス
- 使ってはならない消火剤 ・データ無し
- 火災時特有の危険有害性 ・データ無し
- 特有の消火方法 ・周辺火災の場合危険でなければ容器を火災区域から移動する
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
  - ・空気呼吸器を含め適切な保護具を着用し風上から消火する

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置 8項参照 粉塵を吸入しないようにする
- 環境に対する注意事項 ・河川に流れ環境への影響を起こさない様注意する
- 封じ込め及び洗浄の方法及び機材 ・ウエスで拭き取り多量の水で濯ぎ流す

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い
  - 技術的対策 ・作業中は換気を良くする・保護手袋眼鏡を使用する
  - 安全取扱い注意事項 ・粉体の為、風で眼に入らぬ様注意 園芸用ジョウロで散布  
 予め分解するか否かを確認する 取説参照
  - 取扱後は手を洗う
  - 接触回避 ・塩素と混触すると二酸化塩素ガスが発生する
  - 衛生対策 ・特に記す事は無い
- 保管
  - 安全な保管条件 ・開封せず直射日光、高温多湿を避け暗所で保管する
  - 混触危険物質 ・塩素系とは混触しない（二酸化塩素ガスが発生する）  
 ・強アルカリ物質、過酸化水素と混触しない
  - 安全な容器包装材料 ・ポリエチレン等の石油製品を使用する  
 ・発泡スチロール、ガラス、金属は不可

#### 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 ・局所排気装置の設置又は全体換気を換気を適切に行う  
 盗難、子供に注意する
- 管理濃度 ・設定されていない
- 許容濃度 ・設定されていない
- 保護具
  - 呼吸器用保護具 ・状況により保護マスク、防塵(簡易)マスク
  - 手の保護具 ・炊事用手袋
  - 目、顔面の保護具 ・保護眼鏡
  - 皮膚及び身体の保護具 ・洗浄環境により簡易雨具着用

**9. 物理的及び化学的性質**

外観	・ 白色結晶粉体
臭い	・ 無臭
比重(密度)	・ 1.2 (10%水溶液)
P H	・ 2 ~ 4.5 (10%水溶液)
沸点又初留点及び沸点範囲	・ データ無し
融点・凝固点	・ データ無し
引火点	・ データ無し
自然発火点	・ データ無し
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	・ データ無し
分解温度	・ データ無し
蒸気圧	・ データ無し
相対ガス密度	・ データ無し
動粘性率	・ データ無し
n-オクタノール/水分配係数	・ データ無し
溶解度	・ 水に溶解
粒子特性	・ データ無し

**10. 安定性及び反応性**

反応性	・ 製品自体は安定で有る
化学的安定性	・ 湿気により吸湿する
危険有害反応可能性	・ 高温にすると含有成分が放出する
避けるべき条件	・ 直射日光、熱、強アルカリ物質との混触、他の洗浄剤との混触及び衝撃による破損
混触危険物質	・ 塩素系物質、過酸化水素
危険有害な分解生成物	・ 塩素と混触すると二酸化塩素ガスが発生する

**11. 有害性情報**

急性毒性(経口)	・ 胃痛、口腔炎症をおこすおそれが有る
急性毒性(経皮)	・ データ無し
急性毒性(吸入/蒸気)	・ データ無し
急性毒性(吸入/粉塵)	・ データ無し 　ただし大量に吸入すると鼻喉等気道が刺激される恐れが有る
皮膚腐食性/刺激性	・ 傷口に於いて浸み痛みがする
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	・ 即洗眼しないと角膜を損傷するおそれが有る
呼吸器感作性	・ データ無し
皮膚感作性	・ データ無し
生殖細胞変異原性	・ データ無し
発がん性	・ IARC・NTP・産衛学会に記載されていない
生殖毒性	・ データ無し
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	・ データ無し 　大量に吸入すると気道が刺激される恐れが有る
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	・ データ無し
誤えん有害性	・ データ無し

**1 2. 環境影響情報**

## 生態毒性

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 水生環境有害性(短期/急性) | ・メダカ 200ppm 4日間生存 |
| 水生環境有害性(長期/慢性) | ・区分に該当しない         |

残留性・分解性	・生分解良好 残留性無し
---------	--------------

生体蓄積性	・生物蓄積性は低い
-------	-----------

土壤中の移動性	・データ無し
---------	--------

オゾン層への有害性	・データ無し
-----------	--------

**1 3. 廃棄上の注意**

- |          |  |
|----------|--|
| 残余廃棄物    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多量の場合は石灰乳で中和し多量の水で廃棄</li> <li>・河川法及び地方条例に従う事</li> <li>・都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する</li> </ul> |
| 汚染容器及び包装 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・空容器を廃棄する場合は良く濯ぎ洗う事</li> </ul>  |

**1 4. 輸送上の注意**

- |         |   |
|---------|---|
| 国際規制    | ・IATA、IMDGの規則に従う  |
| 国内規制    | ・該当無し   |
| 国連番号    | ・該当無し   |
| 特別な安全対策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器の破損、漏れが無い事を確認</li> <li>・荷崩れ防止を確実にを行う</li> </ul> |

**1 5. 適用法令**

- |          |                  |
|----------|------------------|
| 労働安全衛生法  | ・非該当             |
| P R T R法 | ・非該当             |
| 消防法      | ・非該当             |
| 水質汚濁防止法  | ・PH5.8 以上 8.6 以下 |
| 毒劇法（薬事法） | ・非該当（普通物）        |

**1 6. その他の情報**

記載内容は現時点で入手できた資料、データ等に基づいて作成しておりますが、成分、含有量、危険有害性等に関していかなる保証をなすものではありません

- |      |  |
|------|--|
| 引用文献 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故災害例無し</li> <li>・GHSに基づく化学品の危険有害性の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) (JIS Z 7253:2019)</li> <li>・化学薬品混触危険ブック東京消防庁編</li> <li>・厚生労働省生活衛生局化学品安全課</li> <li>・(社)日本化学工業会</li> <li>・化学工業日報</li> </ul> |
|------|--|